

Achievements & Next Stage

第16回CTサミットが8月4日(土)、ウインクあいち(愛知県産業労働センター)にて開催された(共催:CTサミット, 第一三共株式会社, 協力:インナービジョン)。2012年より、「全国X線CT技術サミット」から「CTサミット」に名称を変更したため、CTサミットとしては最初の開催となる。今回のテーマは「Achievements & Next Stage」。CT研究のこれまでの業績と、現在進められている革新的な研究についての発表などが企画された。開会の辞で挨拶に立った代表世話人で、今回の当番世話人でもある辻岡勝美氏(藤田保健衛生大学)は、「今後のCT研究の方向性のヒントとなるような企画を立てた。CTサミットを通して若い世代が育ってほしい」と思いを述べた。

今回は、実行委員長の井田義宏氏(藤田保健衛生大学病院)を中心に、愛知・岐阜・三重の3県の施設から集まった33名の実行委員により準備と運営が行われた。当日は、基調講演、シンポジウム2題、特別講演、ランチョンセミナーのプログラムが生まれ、総合司会の日比野友也氏(総合大雄会病院)の進行により進められた。また、講演会場とは別のフロアに設けられたサテライト会場では、一般演題(ポスター発表)、協賛企業による機器展示が行われた。参加者は525名を数え、講演会場や展示会場は活気にあふれた。

午前中は、基調講演と、シンポジウム1が行われた。基調講演では、ヘリカルスキャンの開発者として知られる辻岡氏が「CT開発のアイデアと開発実績」と題し、その着想や実験・

CTサミット代表世話人
第16回当番世話人



辻岡勝美氏
(藤田保健衛生大学)

第16回実行委員長



井田義宏氏
(藤田保健衛生大学病院)

次回
第17回当番世話人



村上克彦氏
(福島県立医科大学病院)

研究の経緯、さらなる新技術の開発や挫折経験も含めて講演し、研究に対する姿勢や考え方について語った。続いてのシンポジウム1「Achievements(実績)」では、これまでCT研究で業績を上げてきた4名のシンポジストにより、どのようなモチベーションをもって研究を行ってきたかなどについて講演が行われた。

メーカー5社が最新の技術や装置について発表するランチョンセミナーを挟み、午後のプログラムでは、シンポジウム2と、特別講演が行われた。シンポジウム2「Next Stage(次世代)」では、最近の新しい研究の中から、ユニークな発想で研究をしている5名のシンポジストが講演した。そして、最後のプログラムとなる特別講演では、平野透氏(札幌医科大学附属病院)が「診療放射線技師による新技術開発の次世代への継承」をテーマに講演した。平野氏は、札幌医科大学附属病院における3Dラボの取り組みを紹介しながら、プロフェッショナルとして診療放射線技師が仕事に臨むときの心構えや、新しい技術開発に積極的に打ち込む姿勢の重要性などについて熱く語った。

* * *

次回の第17回CTサミットは、2013年7月27日(土)に笹川記念会館(東京都港区)を会場に開催され、当番世話人を福島県立医科大学病院の村上克彦氏が務める。なお、次回以降は東京を会場にした定置開催となる予定である。



ウインクあいち



受付風景



会場風景

2012年8月30日、CTサミット世話人である八町 淳先生(長野赤十字病院中央放射線部技師長)が交通事故により急逝されました。日本のCT造影法の基礎を築いたバイオニアであり、CT技術の発展に多大な貢献をされてきました。第16回CTサミットでもシンポジウム1で講演され、研究に取り組む真摯な姿勢や熱い想いを語っておられました。生前の業績を称え、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

[CTサミット世話人による追悼座談会(64~67頁)掲載]

◆プログラム

第16回 CTサミット

公式サイト <http://ctsummit.jp/>

■ 基調講演 ■

座長：石風呂 実 広島大学病院

「CT開発のアイデアと開発実績」

辻岡勝美 藤田保健衛生大学



座長：石風呂 実氏 辻岡勝美氏

総合司会



日比野友也氏
(総合大雄会病院)

■ シンポジウム 1 「Achievements (実績)」 ■

座長：小川正人 産業医科大学病院

村上克彦 福島県立医科大学病院

「CT造影理論の構築」

故・八町 淳 長野赤十字病院



座長：小川正人氏 / 村上克彦氏

「ヘリカルシャトルの原型〈Go & Return法〉の発想」

神谷 悟 宏潤会大同病院

「submillislice ~高分解能CTへの想い」

宮下宗治 耳鼻咽喉科麻生病院



故・八町 淳氏 神谷 悟氏 宮下宗治氏 片倉俊彦氏

「3Dワークステーションの性能評価法の考案」

片倉俊彦 BBMILセンター

■ シンポジウム 2 「Next Stage (次世代)」 ■

座長：井田義宏 藤田保健衛生大学病院

大沢一彰 済生会中和病院

「不整脈ゲート ECG 撮影 逆転の発想」

松谷英幸 高瀬クリニック



座長：井田義宏氏 / 大沢一彰氏

「嚙下CTの発想」

筆谷 拓 JA愛知厚生連江南厚生病院

「逐次近似再構成法の物理評価」

瓜倉厚志 静岡県立静岡がんセンター



松谷英幸氏 筆谷 拓氏 瓜倉厚志氏 山口隆義氏 笹森大輔氏

「新しい造影テクニック TBT」

山口隆義 北海道社会保険病院

「Monochromatic Image を活用した脳動脈瘤の新たな画像診断」

笹森大輔 札幌白石脳神経外科

■ 特別講演 ■

座長：辻岡勝美 藤田保健衛生大学

「診療放射線技師による
新技術開発の次世代への継承」

平野 透 札幌医科大学附属病院



座長：辻岡勝美氏 平野 透氏

■ ランチョンセミナー ■

座長：丹羽正巖 市立四日市病院

深田真司 JA愛知厚生連豊田厚生病院

「メーカープレゼンテーション」(54~63頁に掲載)

GEヘルスケア・ジャパン株式会社 / シーメンス・ジャパン株式会社

東芝メディカルシステムズ株式会社 / 株式会社日立メディコ

株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン

(五十音順)



座長：深田真司氏
丹羽正巖氏